

【 第47回熊本大学定例学長記者懇談会 】

日 時：令和7年7月9日（水）14：00～15：00（予定）

場 所：本部棟1階 大会議室

本学出席者：熊本大学長

小川 久雄

理事（研究・グローバル戦略、産学連携担当）

大谷 順

理事（広報・ブランディング・行政連携担当）

宮尾 千加子

内 容：

1. 学校教育における自己調整力を高める指導法の研究（資料1）
～技術科教育の実践を通して～
大学院教育学研究科 教授 大塚 芳生
2. “ブラジル”と“イギリス”との生殖工学技術における共同研究（資料2）
～トビタテ！留学JAPANの報告～
大学院医学教育部博士課程3年 前田 龍成
3. 台湾との戦略的連携の強化（資料3）
理事・副学長（研究・グローバル戦略・産学連携担当） 大谷 順
4. 新「肥後時修館」高大接続科目等履修生の募集について（資料4）
大学教育統括管理運営機構 准教授 平 英雄
5. その他



学校教育における自己調整力を高める指導法の研究

～ 子どもの実態把握と技術科教育の実践を通して ～

Research on Teaching Methods to Enhance Self-Regulation in School Education

～ Through Understanding the Actual Situations of Children and Practice of Technology ～



教育学部 技術教育 教授
博士(教育学) 大塚 芳生

1



自己紹介



略歴

- 1989年4月 佐賀県唐津市立第五中学校 教諭
- 1993年4月 熊本県上天草市立大矢野中学校 教諭
- 1996年4月 熊本県益城町立木山中学校 教諭
- 2003年4月 熊本県御船町立御船中学校 教諭
- 2007年4月 熊本県御船町立御船中学校 主幹教諭
- 2008年4月 熊本県立八代高等学校 教諭 (御船中学校主幹教諭を兼務)
- 2011年8月 熊本県甲佐町立乙女小学校 教頭
- 2013年4月 熊本県甲佐町立甲佐中学校 教頭
- 2014年4月 熊本県立教育センター技術・家庭研修室 室長
- 2017年4月 熊本県立教育センター 主幹兼特別支援教育及び教育相談室 室長
- 2019年4月 熊本県益城町立津森小学校 校長 (2020年3月退職)
- 2020年4月 熊本大学大学院教育学研究科 教授 (2024年3月退職)
- 2024年4月 熊本県甲佐町立甲佐中学校 校長 (2025年3月退職)
- 2025年4月 熊本大学大学院教育学研究科 教授 (現在に至る)



資格

- 2001年9月 上級教育カウンセラー
- 2009年7月 ガイダンスカウンセラー
- 2014年1月 学校心理士スーパーバイザー
- 2025年2月 博士(教育学)

2

○平成28年10月鳥取県中部の地震

○平成29年7月九州北部豪雨

○平成30年6月大阪府北部の地震

○平成30年7月豪雨（広島県）

○令和2年7月豪雨（八代・球磨・芦北）



「熊本県学校支援チーム」発足 H.30.6.4

問題:COVID-19が蔓延・被災地が遠い

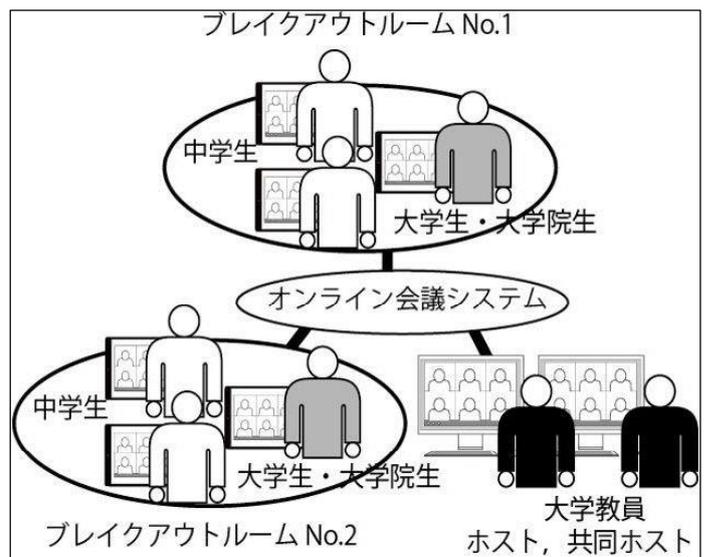
全学部に学生ボランティアを募集し、コロナ禍に加え、令和2年7月豪雨で被災した中学3年生をオンラインによる学習支援

（配慮事項）

単に学習支援するのではなく、中学生は、ストレスを我慢する傾向にあるため、中学生に寄り添う態度で支援する。

（支援期間）

2020年9月20日（日）～ 2021年3月5日
毎週実施



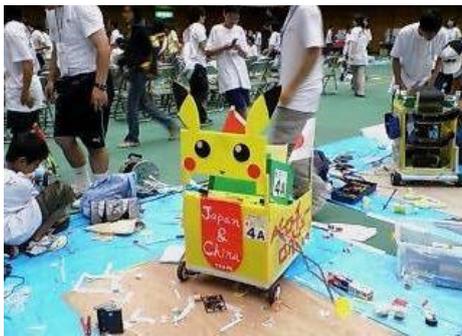
1997年 第1回熊本県大会

1999年 第1回九州大会

2001年 第1回全国大会



5



タイ，韓国，中国，アメリカ，日本の中高生60人が各国混合10チームに分かれて，与えられたルールをもとにロボットを5日間宿泊して製作し，コンテストを行う。

6

ロボコン九州大会を終えた男子29名、女子6名、計35名の感想文分析結果から、

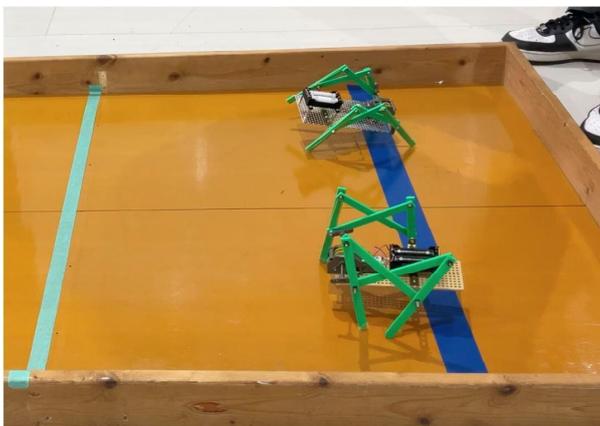
「技術の授業で、レジリエンスが高まり、自己調整力が育成されるのではないか」

大塚芳生(2006)日本産業技術教育学会誌、第48巻3号,57-62

分析項目	出現確率(%)	主な内容
感謝	97	保護者や先生に感謝
思い出し	97	人生への役立ち
協力	86	チームワーク・協調性
感動	86	感動・喜び・楽しみ
開眼	77	物の見方が変わった
全人教育	69	あきらめない力など
物に心が	31	ロボットが息づいている
創造	31	自分なりの工夫が大切
過程	26	プロセスに価値を感じた
集中	23	熱中・一生懸命
継続	23	またやってみたい
自信	23	人前で緊張しなくなった
技術	17	知識や技能の習得
超勝敗	3	負けても悔いはなし
ゴミが宝に	3	ゴミが宝に感じた
技術以上	3	普通教科以上の授業内容
時間	3	時間を守る

7

安定して早く進むロボットを製作する学習計画



時数	学習内容	学習活動
1・2	四足歩行ロボットの改良・試作・設計	歩行不能な四足歩行ロボットを歩行できるように改良し、図で表す。
3・4	四足歩行ロボットの製作	3DCADを使用し、四足歩行ロボットの脚部を設計し3Dプリンタで出力する。 四足歩行ロボットの仮製作に取り組む。
5・6	四足歩行ロボットの評価・改善・修正	仮製作した四足歩行ロボットの動作を確認後、さらにコースなどの条件に合わせて再設計し、脚部を3Dプリンタで出力する。
7・8	四足歩行ロボットコンテスト	再設計した脚部を取付け製作したロボットで学校対抗ロボットコンテストに取り組む。

8

二次元レジリエンス要因尺度

技術による問題解決意識の質問項目

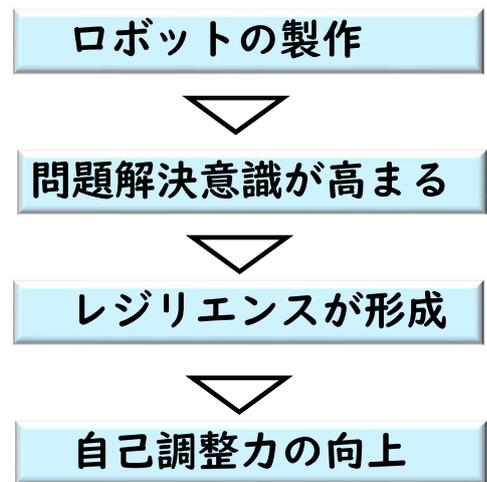
次元	因子項目	具体的な質問項目	質問項目
資質的 レジリエンス要因	楽観性	1 困難な出来事が起きても、どうにか切り抜けることができると思う。	1. 技術による問題解決の必要性を感じること 2. 技術による問題解決のプロセスを理解すること 3. 協力し合って技術による問題解決をすること 4. 技術による問題解決に対するやる気や自信を持つこと 5. 技術による問題解決を追求すること 6. 技術による問題解決を振り返ったり評価したりすること 7. 技術による問題解決を通して、意見や考えを表現すること 8. 技術による問題解決を通して、知識や技能を習得すること 9. 技術による問題解決を通して、創意工夫すること 10. 授業での経験を生かして、日常生活の中で技術による問題解決をしようとする
		11 どんなことでも、たいてい何とかなりそうな気がする。	
		18 たとえ自信がないことでも、結果的に何とかなると思う。	
	統御力	2 つらいことでも我慢できる方だ。	
		12 いやなことがあっても、自分の感情をコントロールできる。	
	社交性	19 自分は体力がある方だ。	
		3 交友関係が広く、誰とでも仲良くできる。	
	行動力	10 自分から人と親しくなることが得意だ。	
		17 昔から、人との関係をとるのが上手だ。	
	獲得的 レジリエンス要因	問題解決志向	
13 決めたことを最後までやりとおすことができる。			
自己理解		20 努力することを大事にする方だ。	
		5 人と誤解が生じたときには積極的に話をしようとする。	
他者心理の理解		9 いやな出来事があったとき、その問題を解決するために情報を集める。	
		16 いやな出来事があったとき、これまでの経験からいかにせるものをみつける。	
自己理解		6 自分の性格についてよく理解している。	
		14 いやな出来事が、どんな風に自分の気持ちに影響するか理解している。	
他者心理の理解		21 自分の考えや気持ちがよくわからないことが多い。	
		7 人の気持ちや、微かな表情の変化を読み取るのが上手だ。	
他者心理の理解	8 他人の考え方を理解するのが得意なほうだ。		
	15 思いやりを持って人と接している。		

9

問題解決意識と二次元レジリエンス要因による分散分析の結果

レジリエンス要因	学習過程	M	SD	レジリエンス要因の主効果	問題解決意識の主効果	レジリエンス要因と問題解決意識の交互作用
楽観性	事前	3.11	0.03	F(2,298)=32.48 **	F(1,149)=.01 n.s.	F(2,298)=7.33 **
	事中	3.19	0.03			
	事後	3.42	0.03			
統御力	事前	2.95	0.03	F(2,298)=.47 n.s.	F(1,149)=.02 n.s.	F(2,298)=.19 n.s.
	事中	2.98	0.03			
	事後	2.97	0.03			
社交性	事前	2.72	0.04	F(2,298)=5.36 **	F(1,149)=.12 n.s.	F(2,298)=.26 n.s.
	事中	2.84	0.04			
	事後	2.84	0.04			
行動力	事前	2.80	0.04	F(2,298)=9.54 **	F(1,149)=3.77 *	F(2,298)=7.27 **
	事中	2.82	0.04			
	事後	3.00	0.05			
問題解決志向	事前	2.79	0.04	F(2,298)=18.23 **	F(1,149)=2.05 ↑	F(2,298)=3.81 *
	事中	2.83	0.04			
	事後	3.05	0.05			
自己理解	事前	2.78	0.04	F(2,298)=1.49 n.s.	F(1,149)=.09 n.s.	F(2,298)=.75 n.s.
	事中	2.72	0.04			
	事後	2.75	0.04			
他者心理の理解	事前	3.20	0.05	F(2,298)=11.66 **	F(1,149)=2.81 ↑	F(2,298)=17.76 **
	事中	3.23	0.05			
	事後	3.32	0.05			

**p<.01 *p<.05 †p<.1



10

“ブラジル”と“イギリス”との 生殖工学技術における共同研究

大学院医学教育部博士課程3年 前田龍成



自己紹介

前田龍成（マエダ リュウセイ）

医学教育部博士課程3年

<主な活動内容>

- 生殖工学技術に関する研究
- 異分野研究ポスター展主催
- 科学実験教室主催



KUMADAI-HUB異分野ポスター展（2024年12月）

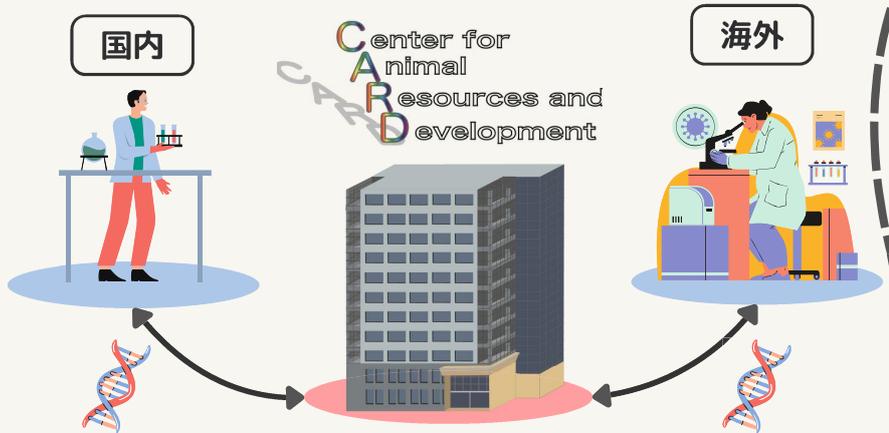


所属研究室での精子凍結保存講座（2024年8月）



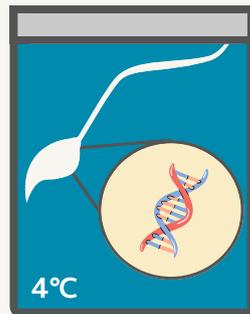
長崎県立美術館で開催された生成AI講座（2024年4月）

所属センターで取り組む研究紹介

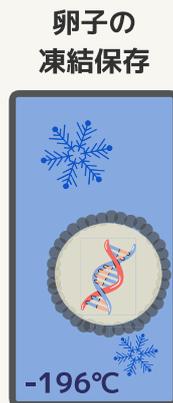


生命資源研究・支援センター

病態モデルである遺伝子改変マウスの遺伝子情報を保存、または国内外の研究者に共有するマウスバンクセンター



精子の冷蔵保存



卵子の凍結保存

生殖工学技術の開発

遺伝子情報を精子や卵子などの生殖細胞に格納し、凍結保存 (-196°C) や冷蔵保存 (4°C) での輸送を可能とする技術の開発している



トビタテ!留学JAPAN (イノベーターコース)



「プロジェクト」での海外留学を応援する奨学金

意欲と能力ある日本の大学生や高校生が、海外留学に自ら一步を踏み出す機運を醸成することを目的として、民間企業からの寄付を財源に、官民協働で2013年より開始された海外留学支援制度。高校生や大学生を対象に、学術研究だけでなく、インターンやボランティアなど、学生が自ら設計したユニークな「プロジェクト」実現を支援する。2024年度の16期では、熊本大学から4名が採択された。



国際研究プロジェクト



MRC Harwell

マウス遺伝学の公的医学研究機関 ヨーロッパを中心としたマウス遺伝子研究に関するプロジェクトや基礎研究の支援を行う

Center for
Animal
Resources and
Development



リオデジャネイロ連邦大学

国内トップクラスの公立大学。南米やブラジル国内における医学研究機関の中心地

技術の連携とシステムの共有により、国際共同研究プロジェクトを立ち上げること



研究（リオデジャネイロ連邦大学）



2025年1月～2025年3月



留学先の
研究室メンバー

技術講習中の様子



マウス生殖工学技術の実施可能な研究室や動物飼育の環境構築、およびシステム運用に必要な生殖工学技術共有を実施した。南米初の凍結精子由来のマウスを作製。現在は、日本から国際輸送した凍結精子と胚を用いた共同研究試験を実施中。



南米初の凍結精子由来胚から生まれたC57BL/6Jマウス



研究 (MRC Harwell)



Mary Lyon
Centre at
MRC Harwell

2025年4月 ~ 2025年5月



卵子凍結技術
のデモの様子

全職員を対象とし
た研究セミナー



マウス卵子凍結技術の新規開発や、既存技術のトラブルシューティングを行う。所属センターや個人研究に関する研究セミナーの開催した。欧州の複数研究機関との共同研究を実施予定。



共同研究に関する
ミーティング

 Kumamoto University

研究留学成果の共有 (スイス)

2025年4月

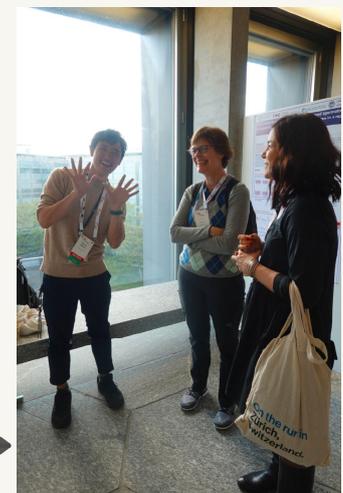
ISTT2025(国際トランスジェニック技術学会)

遺伝子改変動物に関する技術や実験手法などを共有する国際学会。ブラジルとイギリスで実施した生殖工学技術やシステムの共有経験、プロジェクトの過程で得られた研究データに関する発表を実施した。



研究プレゼンテーション中の様子

ポスター発表
中の様子



 Kumamoto University

研究留学におけるユニークな体験



突然停電する実験室



ホームメイドした実験器具



試薬を手に入れるのに2週間以上必要



耐熱構造でないため、室温を保つ難しさ

- 国内の化学企業が少なく、試薬や器具が簡単に手に入らない。器具をホームメイドして初期データを得る必要環境
- インフラ整備が不十分であり、複数の機器を同時に動かすと停電することや、実験室の室温が保てない環境
- 周辺地域の治安が悪く、通勤や活動制限など、高ストレスな研究環境

 Kumamoto University

謝辞

Center for
Animal
Resources and
Development



生命資源研究・支援センター
資源開発分野

 UFRJ



リオデジャネイロ連邦大学
実験動物ユニット

 Mary Lyon
Centre at
MRC Harwell



MRC Harwell
動物研究ユニット

 Kumamoto University

熊本大学国際教育課

 トビタテ!
留学JAPAN
Challenge
Connect
Innovate

トビタテ！留学JAPAN事務局

台湾との戦略的連携を強化

理事・副学長(研究・グローバル戦略・産学連携担当)

大谷 順



1

7月15日(火) 11:30-13:00



「UAAT-KOOU華語教育センター」開所式

概要:

- 令和6年4月、熊本大学をはじめとする九州・沖縄地域の11の国立大学法人が「九州・沖縄オープンユニバーシティ(KOOU)」と、台湾の大学群による学術プラットフォーム「台湾国家重点領域国際合作連盟(UAAT)」が国際的な協力に関する覚書を締結。
- 国立中山大学は台湾教育部より、九州・沖縄地域における華語(マンダリン:中国語の標準語)教育の推進機関として指定されており、KOOU加盟大学の1校に教育拠点を設置することとなり、熊本大学内に同センターを設置することとなった。

名称:UAAT-KOOU華語教育センター(UAAT-KOOU Mandarin Language Center)

設置場所: 熊本大学黒髪北キャンパス内 多言語文化総合教育棟

提供内容:

- KOOU加盟大学向け華語教育コース
- 熊本大学内の講義室を借用して実施または各加盟大学へ教員を派遣して実施
- 地域住民向け華語レッスンの開講



7月15日(火) 18:30-21:00 (冒頭30分のみ公開)

台湾の有力大学学長等とのハイレベル会合

概要:

- 台湾で最も権威ある国立大学5校の学長等が来熊し、国際共同研究、学生交流、教育連携など多岐にわたる分野での具体的な協議を行う。
- 熊本大学にとっても、アジアとの知的ネットワークの深化に向けた重要なステップ。

主な出席予定者:

国立台湾大学 学長 陳 文章 (Wen-Chang Chen)

国立台湾師範大学 学長 吳 正己 (Cheng-Chih Wu)

国立清華大学 学長 高 為元 (W. John Kao)

国立陽明交通大学 学長 林 奇宏 (Chi-Hung Lin)

国立成功大学 副学長 張 始偉 (Shyy-Wbei Chang)

熊本大学: 学長 小川 久雄

理事・副学長 富澤 一仁

理事・副学長 大谷 順

理事・副学長 水元 豊文 理事・事務局長 黒沼 一郎

Kumamoto University

3



7月16日(水) 9:30-17:00

第5回日台大学学長フォーラム

概要:

- 国立大学協会が事務局を務める国公立大学団体国際交流担当委員長協議会 (JACUIE) は、台湾の高等教育国際合作基金会 (FICHET) と共同で、7月16日(水)にホテル日航熊本にて「2025日台大学学長フォーラム」を開催。
- 熊本大学が開催校を務める本フォーラムでは、“The Future of the Region: Challenges of Universities in Japan and Taiwan in the Innovative Era (地域の未来: イノベーション時代における日本と台湾の大学の課題)”をメインテーマとし、日台の大学長を中心とする約150名の高等教育関係者が参加し、日台大学間での学生・研究者の交流推進や地域産業界との連携、自然災害への大学の役割、高等教育におけるDX等について議論する予定。

1. 日時 令和7年7月16日(水)9:30~17:00(9:00受付開始)
2. 会場 ホテル日航熊本(熊本県熊本市中央区上通町2-1)
3. プログラム 配付資料の通り
4. 参加予定 台湾側:33大学・団体等61名 日本側:52大学・団体等95名
5. その他 使用言語:英語(同時通訳なし)

※ 7月17日(木) カルチュラルツアー(熊本主催)で南阿蘇方面を訪問

2025年度 熊本大学 新「肥後時修館」高大接続科目等履修生募集

【概要】

- 高校生に対して早期の大学教育を実施し、大学でのStudent Mindsetを涵養することを目的
- 高校と大学の間の教育のギャップがないよう接続するための役目を担う
- 先取り履修制度：単位取得が認められた（合格した）場合、熊本大学入学後に本学の単位として認定

【2025年度 授業科目】

1. 「最先端の生命科学 C」(教養教育 1単位 鈴 伸也 先生 ほか)

HIV-1などの微生物と宿主の相互作用を中心に、講師らの最新の知見も含めて多面的（遺伝子、細胞、個体レベル）に解説します。



2. 「現代社会と薬学 A」(教養教育 2単位 三隅 将吾 先生 ほか)

現代社会における疾病の現状とその予防・治療に関する基本的知識を深め、健康とは何かを考えます。



3. 「暮らしと情報・通信技術」(情報融合学環 1単位 三浦 沖 先生)

サブタイトルは「現代社会と半導体」です。現代の生活に不可欠な半導体について、歴史的背景や、これまでの発展、そして半導体の普及による社会的変革について学び、今後の展望について考えます。

※熊本大学入学後に単位認定を申請した場合、教養教育科目として認定されます。



【出願資格】

高校生（国内の高等学校等に在学するもので当該高等学校等の長から推薦された者）

【履修期間】

2025年10月～2026年3月（授業科目による）
本学のeラーニングシステムを使用しての授業を予定



全学教育棟（本学HPより）



【願書受付期間】

2025年7月1日（火）～ 7月22日（火）

【募集人員】

若干名（本学の教育（授業）・研究に支障のない人数）

D-Square（情報融合学環HPより）

【検定料・入学料・授業料】

検定料・入学料：無料 授業料：（1単位）5,500円



【応募について】

詳細は募集要項にあります。右のQRコードよりご確認ください。

https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/sonota/tgtryx/R7shin_higojisyukan

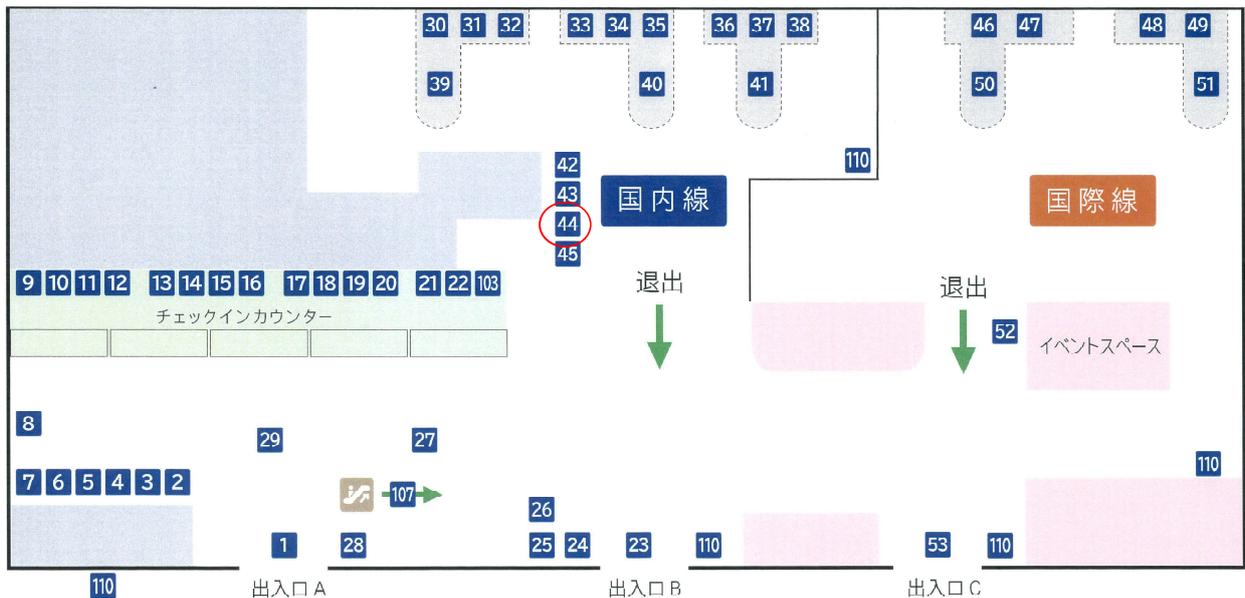
【お問い合わせ】

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-40-1
熊本大学 学生支援部入試課（高大連携推進室）
TEL：096-342-2712



阿蘇くまもと空港フロアマップ / 1F KKKIMAC

1階フロア



ASO KUMAMOTO AIRPORT
 FLOOR MAP

令和7年7月9日開催

熊本大学定例学長記者懇談会 報告 1

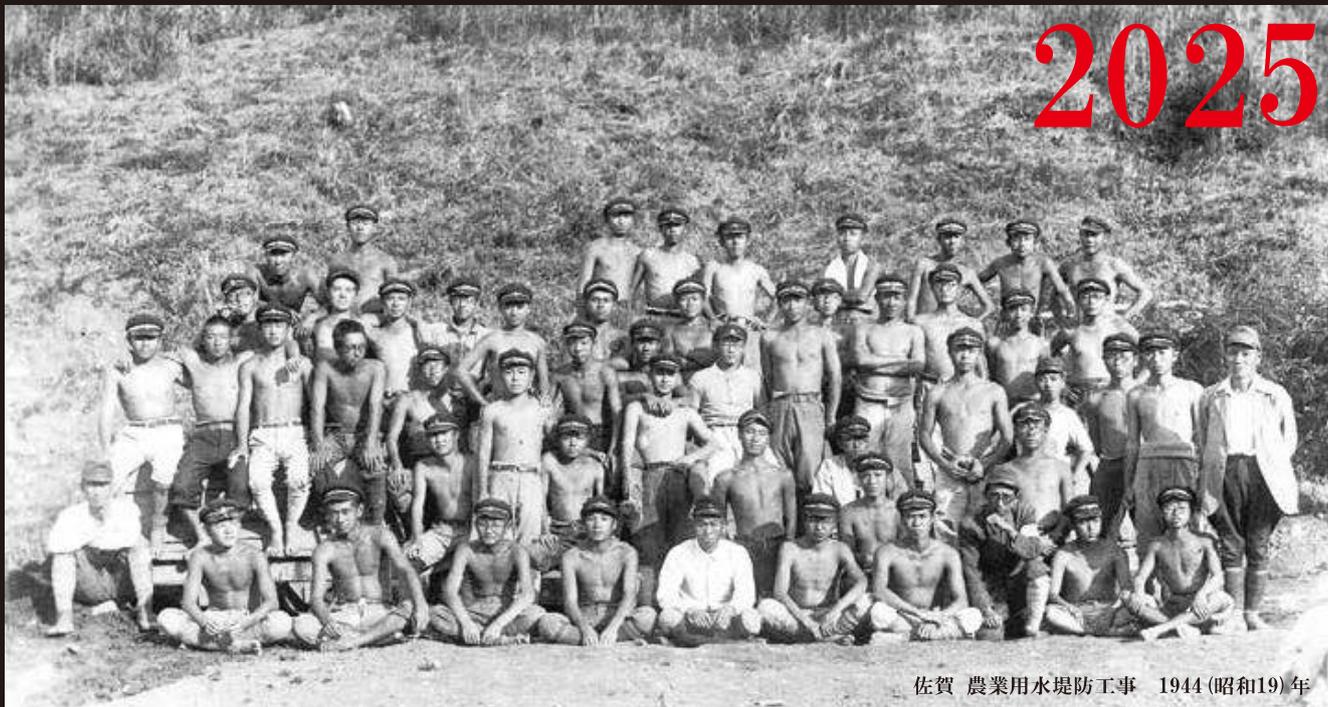
m

熊本大学
キャンパスミュージアム

企画展

五高と戦争

2025



佐賀 農業用水堤防工事 1944(昭和19)年

会場／熊本大学五高記念館 2025 7.30(水)～9.29(月)

時間／10:00～16:00 [入館は15:30まで]

休館日／8月5・9・14・19・26日

9月2・9・16日

主催：熊本大学キャンパスミュージアム推進機構

問合せ：熊本大学キャンパスミュージアム推進機構

(熊本大学五高記念館) 〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-40-1

TEL 096-342-2050 FAX 096-342-2051

<http://www.goko.kumamoto-u.ac.jp/>

入場
無料